

社債市場の活性化に向けた検討課題・取組み

平成 22 年 12 月 24 日

第 1 部会（証券会社の引受審査の見直し等）

○ 社債の機動的な発行の確保

- (1) 社債の機動的な発行を制約する市場慣行の解消
- (2) 証券会社の引受審査の枠組み
- (3) コンフォートレターの位置付け・取扱い
- (4) 金融商品取引法による責任分担の明確化・徹底

第 2 部会（コベナントの付与及び情報開示等）

○ 低格付社債市場の整備等

- (1) コベナントの付与
 - ・ 標準的コベナントモデルの作成・例示等
- (2) コベナント等の情報開示
 - ① 有価証券報告書による開示
 - ② 米国の臨時報告書フォーム 8-K 等に相当する法的開示
 - ③ 取引所による適時開示

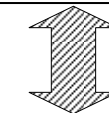
社債市場の活性化に関する懇談会

報告書「社債市場の活性化に向けて」

一層効率的で、透明性・流動性の高い社債市場の実現

（平成 23 年 6 月までに検討・取りまとめ）

※金融庁「金融資本市場及び金融産業の活性化等のアクションプラン」



連携
（コベナントの実効性の確保等）

第 4 部会（社債の価格情報インフラの整備等）

○ 社債の価格情報の透明性の向上・信頼性の確保

- (1) 社債の取引情報の公表
 - ・ 米国・英国の制度を参考に、当面、ほふりのシステムを活用し、流動性の高い銘柄から、1 日 1 回、取引終了後に社債の価格等を公表
- (2) 公社債店頭売買参考統計値の信頼性の向上
 - ・ 指定報告協会員名の公表等
 - ・ 報告時限の繰下げ等

第 3 部会（社債管理のあり方等）

○ 低格付社債市場の整備等

- (1) 企業の信用リスクと社債管理のあり方
 - ・ 標準的社債管理者設置モデル作成・例示等
- (2) 今後の社債管理のあり方
 - ① 米国のトラスティー等を参考に、デフォルト後の債権保全・回収機能に特化した社債管理者等
 - ② 社債のイベントリスクへの対応

【 発行市場 】

- ・ 社債の発行条件の決定手続の整備（POT方式の導入）

【 流通市場 】

- ① 社債レポ市場の整備
- ② 決済・清算システムの機能拡充

【 市場インフラ及び市場慣行 】

- ① 税制（非居住者の社債利子の非課税措置の恒久化等）
- ② 投資教育、基礎データの整備及び社債 IR の推進等
- ③ 社債市場の国際化の推進とアジア等との連携強化